



# 東京札幌会だより

Vol.53



# ご挨拶

会員の皆様、梅雨明けが待たれるこの頃、いかがお過ごしでしょうか。毎日が鬱陶しく気分も湿りがちという人は、たまには梅雨の合間を縫って外に出てみるのも良いものです。街路樹の緑の先に、白い花穂が目に入ります。濡れた樹皮の暗褐色とのコントラストは、まさにこの時期ならではの光景です。道端の花序の代表格アジサイも紫や薄紅への色の変化を楽しませてくれます。日常を色で感じることができ、気持ちに変化をもたらせてくれます。

さて、「東京札幌会」は3月12日に「総会・懇親会」を開催し、無事終了することができました。会員の皆様のご理解・ご協力の賜物と、厚く感謝申し上げます。さらに、札幌市東京事務所の皆様はじめ多くの関係者の方のご尽力に対し、心より御礼申し上げます。

今年度は一段ギアを上げ、新しいものにもチャレンジしながら「東京札幌会」を盛り上げて行こうと役員一同張り切っております。



東京札幌会  
会長 秦 豊昭

4月の中頃でしょうか、ふるさと札幌の「史上最速でサクラの開花」のニュースがありました。否、信じられません。「あれは絶対、5月に咲くものだ」と。地球温暖化、環境の著しい変化なのか……もはやついていけません。

何でも早ければ良いというわけではありませんが、これだけは「早く！」と言いたくなるものもあります。北海道新幹線の札幌延伸です。2030年度末の開業予定と報じられています。

そして、それに合わせるように「札幌のまち」が今、大きく変わろうとしています。1972年の冬季札幌オリンピック開催以来、50数年振りに再開発が始まっているのです。特に札幌駅周辺は、北海道新幹線を迎え入れるのに相応しい、新しい「札幌の表玄関」が計画されています。

既に、どこかしこで建設の杭の音が響き、巨大なクレーンが林立し始めました。高さ245mの新・駅ビル、創成川を跨ぐ新幹線駅舎、新幹線新東口

の開設等、驚くような風景が見られるのもそう遠いことではありません。札幌駅周辺だけでなく、大通公園の周りやススキノに至るまでの駅前通り一帯も、再開発ラッシュの真ただ中です。

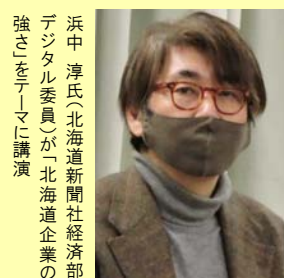
変貌を遂げつつある、ふるさと札幌を想いながら、半世紀にも及ぶ首都圏生活が続く私の頭の中には、何故かこの一節がよぎるのです。

——わたしたちは、時計台の鐘がなる札幌の市民です。わたしたちの札幌市は雄大な自然とたくましい開拓精神をもつてきずかれ、大きく発展している希望のまちです。(札幌市民憲章 前章より抜粋)

そして、「東京札幌会」の一員として、——世界とむすぶ高い文化のまちにしましょう。(同 5章より抜粋)

という言葉を胸に刻み、これからも「ふるさと札幌」を応援したいと思えます。と同時に、会員の皆様方のご健康を祈願し、またお会いできる日を楽しみにしています。

## イベント報告①「第3回 札幌企業東京交流会 & 特別講演会」1月25日(木) / 東京交通会館



浜中 淳氏(北海道新聞社経済部デジタル委員)が「北海道企業の強さ」をテーマに講演



コロナ禍で休止していた「札幌企業東京交流会(第3回)」を「特別講演会」とセットで企画し、法人会員や札幌関係企業、一般会員など約70名が参加。興味深い講演に聞き入り、複数の質疑応答も。第二部の交流会では名刺交換や歓談、情報交換などが活発に行われました。

# 市長メッセージ



札幌市 市長  
秋元 克広

東京札幌会の皆様には、日ごろから札幌市政の推進にご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

4月に、多くの皆さまのご支持・ご信託をいただきまして、三たび、市長としてこの次の4年間の札幌のかじ取り役を担わせていただくことになりました。あらためて、先人たちが築き上げてきた魅力的な札幌のまちを持続的な形で未来につなげていく重責を担わせていただくことに、身の引き締まる思いであります。

さて、昨年度は、新型コロナウイルス感染症への対策と並行し、試行錯誤を重ねながら、本格的な社会経済活動を再開させていく1年でした。さっぱり夏まつりやオータムフェスト、そして、雪まつりを3年ぶりに通常開催したほか、入国制限の緩和により海外からの観光客も回復の兆しが見えてきております。

そのような中で、本年4月には「G7札幌気候・エネルギー・環境大臣会合」が札幌にて開催されました。

札幌は人口197万人を擁しながら、年間5メートルもの雪が降る世界的にも大変珍しい特徴を持つ都市です。雪は、時に生活に支障をきたす一方で、札幌の文化や経済を支えるかけがえない財産にもなっています。このまま温暖化や気候変動が進めば、天然のパウダースノーが降り積もるこの大切な環境を守れなくなるという危機感を持つ中、世界中から注目される本会合が札幌で開催されたことを大変意義深く思っていますし、脱炭素社会の実現に向けた動きを加速させる契機にしていきたいと考えています。

また、9月には体験型観光の国際会議である「アドベンチャー・トラベル・ワールドサミット(ATWS)」が北海道で開催され、札幌市内でもさまざまなか会合が行われます。都市と自然が調

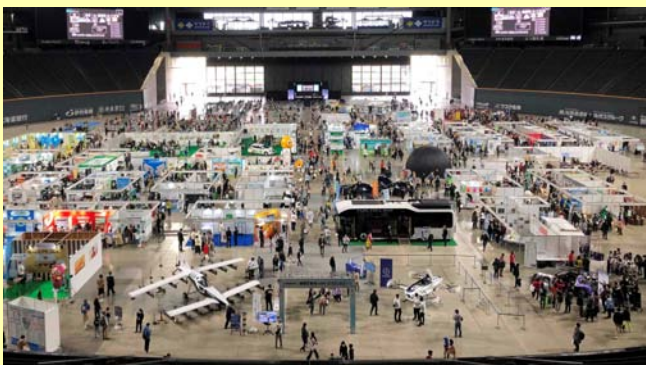
和した、多くの市民に愛される札幌市の魅力を改めて世界に発信し、新型コロナウイルス感染症の影響などで落ち込んだ経済・観光の再生とさらなる魅力向上につなげてまいりたいと考えております。

結びに、東京札幌会の皆さまにおかれましては、引き続き東京の地から、「ふるさと札幌」の発展にお力添えを賜りますよう心からお願い申し上げますとともに、東京札幌会の益々のご発展と皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げます。私からのメッセージとさせていただきます。



7月の「サツポロさとらんど」(東区丘珠町)

## 札幌 TOPIC「G7札幌気候・エネルギー・環境大臣会合」4月15日(土)~16日(日) / 札幌市内



G7広島サミット(4月19~21日)に先駆けた4月15日、札幌プリンスホテルを会場に「G7札幌気候・エネルギー・環境大臣会合」が開幕(～16日)。約160の企業・団体が出展した関連イベント「環境広場ほっかいどう2023」の会場、札幌ドーム(左の写真)では、鈴木直道北海道知事と秋元克広札幌市長が脱炭素社会に向けた「北海道・札幌宣言」を発表しました(右上の写真)。

# 会員★交流広場

## ★木下峻一(きのした・しゅんいち)さん

2022年夏に東京札幌会に入会しました。北海道愛、札幌愛あふれる皆様と交流できますことをとても嬉しく思います。

私は、1988(昭和63)年生まれ、北海道千歳市出身の34歳です。北広島高校、中央大学法学部を経て、新卒で札幌の会社に入社し、行啓通のあたりに住んでいたこともあります。今は縁あって東京にいます。が、心はいつも、そしてこれからも道産子です。趣味は飛行機や鉄道での旅と日本酒です。美味しいものを食べたりお酒を飲んだりするのが好きなので、何かありましたら、ぜひお誘いください！

私は昨年5月、PrimoPinguino(プリモピングイーノ)株式会社を起業し、代表を務めています。事業内容は人事コンサルティング・採用代行で、特に、中小企業様の採用アドバイス事業に力を注いでいます。コンサルティング(改善提案・アドバイス)と代行(コンサルティングをお客様企業に代わって実行)、この二つのサービスから、採用難・人材不足の時代に勝つ採用支援を提供しています。ホームページに、当社サービスのマンガを掲載していますので、よろし

ければご覧ください。

今後は、自身のビジネスを通じて、北海道、札幌の企業や経済、そして人を元気にしていくことで故郷に恩返しをしていきたいと思っています。仲良くしていただけたら、どうぞよろしくお願いいたします。



PrimoPinguino(株)のホームページより  
⇒<https://www.p-pinguino.com/>

## ★小泉尊史(こいずみ・たかし)さん

「プロミュージシャンになるんだ」と啖呵を切って上京してから、はや21年。今となっては、札幌で過ごしてきた期間よりも、東京で暮らしている期間の方が長くなりました。雪の降らない冬の街にもすっかり慣れましたが、息が白くなる頃には、しんと降り積もる雪を期待してしまうのも正直な気持ちです。

私が東京札幌会に興味を持ったのは3年前で、実際に入会したのは約2年前です。東京にも十分に慣れ、生活もある程度落ち

着いてきたこともあり、そろそろ何か「地元・北海道に貢献したい」とインターネット

で検索し、東京札幌会にたどり着きました。ただ、当時はコロナ禍の真っ只中。イベント開催も見送らざるを得ない状況だったこともあり、東京札幌会を通じて、どのように地元貢献ができるかがわかりませんでした。そんな時、オンライン飲み会に参加し、会長や幹事の山中さん、山根さん、森田さんにご挨拶させていただきました。皆さんの温かさを感じていると、札幌で暮らしていた頃を思い出し、どこか懐かしい気持ちにもなりました。それ以降、積極的に活動に関わることができればと思い、今に至ります。

上京してからは、紆余曲折ありながらも音楽活動に励み、一時は某事務所の専属作家として作曲に勤しむこともありましたが、約10年前に音楽活動から離れ、現在はベンチャーのコストコンサルティング企業で事業部長として働くかたわら、自ら法人を立ち上げ、今後の新事業を模索しております。まだ漠然としています。皆さんと事業でコラボレーションして、道産子パワーで北海道、そして日本全体を元気にすることが今の目標です。まだまだ若輩者ではありますが、何かお役に立てることがあります。どうぞよろしくお願ひいたします。

## ★山本光子(やまもとてるこ)さん

高校・大学ともに札幌で、札幌時代(1992〜2014年)は「札幌西武」「ドコモ北海道」「電通北海道」に在籍。東京札幌会の先輩の中には、お仕事を一緒にさせていただいた方も何人かおられるかと思えます(その節は、お世話になりました！)。

その後、2014年7月から「ぐるなび」へ。6年間に在籍し、コロナ禍の少し前に退社。現在は四つの名刺を持ち、あれこれ動いているところです。そのうちの一つが、(一社)日本ワイナリーアワード協議会で、2017年秋、創設に参加。気がつくと、もう6期目になっていて、審査以外の大半の実務を動かす役目になっています。このほか、食文化振興や地域活性化、DX系など、年齢・性別・国籍・所属スタイルも異なる多様なメンバーと仕事しています。

1992年に堤清二さん直下の西武百貨店本部営業企画室から西武北海道へ子連れ出向したのですが、当時の五番館西武も、もはや過去の記憶になりましたね。今もほぼ毎月、札幌に出張していますが、変わりゆく街の姿に考えることも。

大好きな札幌。そして北海道。今は東京がメインですが、東京札幌会の皆様と繋がって、札幌のこれから見つめ、微力ですがお手伝いできることがあれば、と思えます。どうぞよろしくお願ひいたします。

# 幹事の札幌コラム

## ▼帰省って思ったこと

3月上旬、法事のため、札幌に帰っていました。札幌も暖かく、既に路面の雪が消えているのを見て、長い冬も終わり、これから春めいてくるのが感じられました。

札幌の友人との話題は、この3月、北広島市に開業した北海道ポールパークビルディングの「エスコンフィールドHOKKAIDO」のことでした。札幌市民としては、プロ野球・北海道日本ハムファイターズが札幌ドームから本拠地を移転してしまったことは残念ですが、新野球場での新しいスタイルの野球観戦に期待が膨らみます。

北広島出身の友人の話では、エスコンフィールドが建った場所は、彼らが子どもの頃(45年以上前)から「野球場がグラウンドができる」と言われていた土地だそうです。もちろん、当時はプロ野球を想定した話ではなかったのですが、それを聞くと、「札幌から日ハムがいなくなつて残念」とはともやえず、「北海道にできた新しい野球場を皆で応援していかねければ」と思っただ次第です。

子どもの頃、大人が話してくれた夢がありました。北海道に「野球場ができる(札幌

にドームができる、プロ野球がやって来る)」「新幹線が来る」——若干、遅すぎるくらいはありますが、今、北海道では、そうした夢が現実になってきていると感じます。



2030(令和12)年度末の完成を目指し、新函館北斗駅～札幌駅(約212km。80%がトンネル)の北海道新幹線建設工事が進行中。

私たちも、昔からの夢を実現することのみならず、新しい夢を子どもたち、若い世代に託すことをやっていかななくてはならないと感じました。

(幹事 大江浩人)



## ▼札幌でアドベンチャートラベル・ワールドサミット開催

皆さん、「アドベンチャートラベル」って聞いたことはありませんか？これは欧米圏で発達した体験型観光の一つで、「アクティビティ」「自然」「異文化体験」のうち、二つ以上で構成される旅行とされています。文化も感じながら、大自然の中でのハイキ

ング、カヌー、サイクリングなどの特別な体験旅行が一例でしょう。札幌では、「鮭」の目線で札幌・豊平川沿いをサイクリングし、上流の定山溪でカヌー！なんていうのも聞いたことがあります。

「アドベンチャートラベル・ワールドサミット(ATWS)」と聞いて、「あれ、その会議、だいぶ前に開催のニュースを見たような？」と思った方がいるかもしれません。そう、北海道内で官民を挙げてこの国際イベントの誘致に成功し、一昨年9月に「ATWS2021」を開催予定でしたが、残念ながらコロナ禍のためにオンライン開催になっていたのです。



定山溪豊平川ではカヌーやラフティングも

## イベント報告②「2023 春のつどい(第47回総会&懇親会)」3月12日(日)ノホテルグランドヒル市ヶ谷



3年振りの対面開催となった第47回総会&懇親会は、約70名の参加者を集め、装いも新たな「2023春のつどい」として実施。総会では、収支・活動に関する議案および役員改選案が承認され、秦会長、松代副会長、監事、15名の幹事の再任と米村 猛幹事の新任が承認されました。町田隆敏札幌市副市長を来賓に迎え、佐藤美賀札幌市東京事務所所長の乾杯のご発声で始まった懇親会では、明るい笑顔と歓談の輪が広がりました。



藻岩山「もーりす号ホワイトクルージング」

でも、バーチャルながらその評判は高く、北海道はじめ日本各地の映像は世界の参加者に感銘を与えました。そこで、2022年のスイス開催を挟んで再びチャンスももらい、今年9月、ついに北海道で、アジア発のリアル開催にこぎ着けたということです。加えて、バーチャルとリアルとの2回の開催という「特別な位置づけ」になりました。北海道、札幌市、釧路市、北海道観光振興機構、北海道経産局、運輸局などがメンバーになった推進機関が組織され、官民挙げた大きな取り組みになっています。

今回の「ATWS2023」は、9月11日(月)〜14日(木)、札幌コンベンションセンターをメイン会場として、世界70カ国800名もの関係者が参加し、講演会や

セミナー、商談会などが精力的に行われます。ビジネスイベントのため、一般の参加は想定されていないのですが、この間、メディアを通じて、大いに盛り上がっている様子を見られることが楽しみです。

札幌市の秋元市長も、「アドベンチャートラベルは、北海道の広大な自然、独自の歴史・文化、世界レベルのパウダースノーなどの観光資源を十二分にいかせる旅行形態ホストシティとして総力挙げて準備に取り組みたい」と表明しておられると聞きしました。その下で実務の責任者をされている瀬川裕佳子さん(観光・MICE推進部観光誘致・受入担当課長)からは、

「アドベンチャートラベル・ワールドサミットの開催は、『都市と自然』が共存した札幌の魅力の世界中の方々に知っていただく貴重な機会です。アドベンチャートラベルの推進は、サミット開催をもって終了するのではなく、そのレガシーを、その後の札幌の観光振興に、どのように活かしていくのが非常に重要と考えています」

との想いを伺いましたが、まさに、そのとおりだと思います。思い返すと、6年ほど前になりますが、私(米村)は、経済産業省から国土交通省の観光庁観光地域振興部長に向向して、観光が地域経済の活力の源泉になるために何が必要なのかを考えていました。その中で、体験型であり、まだまだポテンシャルの高いアドベンチャート

ラベルに着目し、札幌市はじめ、釧路市なども意見交換を行ってきました。

また、現在の観光庁でこれを支援している観光資源課長の富田建蔵さんにお話を聞いてきたのですが、非常に大きな期待をされています。アドベンチャートラベルの市場規模は世界全体で72兆円にのぼり、これを楽しむ旅行者の消費額は通常の2倍だそうです。ポストコロナの持続可能な観光という時流にも沿ったもので、3月に公表された「観光立国推進基本計画」にも言及があるとのこと。まさに、札幌・北海道にとって大きなチャンスです。国全体の観点から言えば、この盛り上がり、その後の地域経済の活力として定着し、さらには、日本全体へと広がっていく「起爆剤」として大いに期待される場所です。

そういえば、4月には札幌で「G7気候・エネルギー・環境大臣会合」が開催され、大きなニュースになりました。札幌市などの努力で大きな会議が続々と誘致されています。そして、こうした大きな国際会議・イベントを一過性のものにせず、地域経済発展のレガシーとしてどう捉えていくか、皆で考えられるといいですね。

「アドベンチャートラベルの聖地は札幌・北海道！」と言われる日を楽しみに、皆さんと札幌市の未来について語り合えることを願っています。

(幹事 米村猛)

イベント報告③「北海道ふるさと会連合会 春のジンギスカン大会」4月22日(土)／松尾ジンギスカン赤坂店



北海道ふるさと会連合会の企画「春のジンギスカン大会」に東京札幌会から16名の会員が参加。総勢70名以上で松尾ジンギスカン赤坂店を賞切にし、道民おなじみの味の“食べ(&飲み)放題”を堪能しました。



# 札幌市東京事務所より

札幌市東京事務所 所長 佐藤 美賀

東京札幌会の皆様には、日頃より大変お世話になっておりますとともに、「ビッグ札幌ファン」として、力強く札幌を応援いただいていることに心から感謝申し上げます。引き続き、皆様と手を取り合って、札幌を盛り上げていきたいと考えておりますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。  
本年度、新たに東京事務所に着任した4名の職員からご挨拶をさせていただきます。



札幌市東京事務所職員の皆さん  
(前列左から) 廣川沙耶さん、菊地友美恵さん、磯尾尚弘担当課長、佐藤美賀所長  
工藤一也副所長、枝元俊晴担当課長、脇坂 綾さん  
(後列左から) 後藤秀治さん、舘山慶祐さん、吉田翔太郎さん、佐藤史弥さん  
工藤奈津子さん、三井恵里さん、高橋陽平さん

## シティセールス担当課長 磯尾 尚弘

大好きな札幌を外からの視点で見たいという思いを抱いていたところ、今年4月から東京事務所での勤務という機会をいただきました。人生で初めて北海道を離れて生活するため、夏の暑さに耐えられるのか、不安ではあるのですが、好物のカレーを食べて体調の維持に努めたいと思っております。

過去に在籍していた部署では、観光や産業振興に関する業務に従事しておりましたので、そこでの経験を活かしつつ、札幌の魅力を多くの人に伝えられるよう頑張っております。どうぞよろしくお願いいたします。

## 招致戦略担当課長 枝元 俊晴

私は、前回の冬季札幌オリンピックが開催された1972年に札幌で生まれ、半世紀を過ぎてオリパラ招致戦略担当を任じられるという縁に恵まれ、着任しました。前職は東京の別組織に派遣されていまして、実は東京生活も3年目です。しかし、上京当時はコロナ禍の真っ只中だったため、今さらながら、コロナ明けによる本来の東京のエネルギーに圧倒されつつ、東京らしい賑やかさを満喫しています。

オリパラの招致には、地元札幌での盛り上がりはもとより、東京を中心とした全国レベルの機運醸成も重要です。そのためには、皆さまの声援が欠かせないものと考えておりますので、招致実現と、これをきっかけとした札幌のさらなる発展に向けて、ご理解とご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

## シティセールス担当係長 工藤 奈津子

東京勤務は15年ぶりとなりますが、この間の目を見張るような変貌振りに、日々驚くばかりです。改めて、「外」から見た札幌の魅力を発見していきたいと思っております。

この3年余り、行動制限を余儀なくされてきましたが、今春からは、シティプロモーションにも本腰を入れることができるようになるものと嬉しく思っています。皆様のお力もお借りしながら、首都圏の「札幌ファン」を増やし、東京の活力を札幌の発展に繋げていけるよう、積極的に業務に取り組んでいきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

## 事務職員 廣川 沙耶

私は今年5月に着任し、東京事務所では、庶務経理全般を担当しています。

前職は、G7札幌会合の開催準備のため、昨年11月から環境省に派遣されておりました。G7札幌会合では、各国の代表団の皆様札幌のホスピタリティを感じていただき、大成功で幕を閉じることができました。地元・札幌の魅力が広く世界に伝わりましたことを、大変嬉しく感じています。

今後は、東京事務所の一員として、東京札幌会の皆様とともに札幌を盛り上げるお手伝いができればと思っています。皆様とお会いできる日を楽しみにしております。今後ともどうぞよろしく申し上げます。

東京札幌会は札幌を愛する有志による「ふるさと会」です。当会に集う仲間の楽しい交流の場を設けるとともに、「ふるさと札幌をもっと元気に！」と願う応援団として、さまざまな活動を展開して参ります。ご案内するイベント等に、ぜひご参加ください！

### 東京札幌会これからのイベント(予定)

←「案内済み」

7月22日(土) 正午

▼「暑気払いビール会(夏のつどい)」

新宿ライオン会館6階・パーティ個室ライオン

←「詳細が決まり次第、「案内をお届けします」

9月〜12月頃

▼「国会見学会」

▼「秋のつどい」

▼「第4回札幌企業東京交流会」

2024年3月頃

▼「2024 春のつどい(第48回総会&懇親会)」

### 東京札幌会ホームページ

<http://www.tokyoapporokai.com/>

スマホはQRコードから



イベントのご案内や開催報告などは東京札幌会のホームページに随時、掲載しています。ご活用ください！

※登録のメールアドレス宛にイベント等のご案内をお届けします。未登録の方は、ぜひ、ご登録をお願いします。

今年3月12日の第47回総会で役員改選が行われ、総勢20名の新役員が選任されました。ますます「楽しい東京札幌会」にするために、皆様には、いっそうのお力添えのほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

### 東京札幌会役員紹介

〈会長〉 秦 豊昭 (はた・とよあき)

〈副会長〉 松代 洋子 (まつしろ・ようこ) ★

〈幹事長〉 道見 由貴 (どうみ・ゆき) ★

〈幹事(五十音順)〉

岩浪 久美 (いわなみ・くみ) ★

大江 浩人 (おおえ・ひろと)

奥園 恵美子 (おくぞの・えみこ) ★

数納 壽 (かずのう・ひさし)

清水 宣之 (しみず・のりゆき)

道免 順 (どうめん・じゅん)

富田 信二 (とみた・しんじ)

秦 美代 (はた・みよ) ★

福崎 芳枝 (ふくざき・よしえ) ★

宮永 明子 (みやなが・あきこ) ★

森田 茂才 (もりた・しげとし)

山中 茂樹 (やまなか・しげき)

山根 早苗 (やまね・さなえ) ★

米村 猛 (よねむら・たけし) \*新任

渡辺 克己 (わたなべ・かつみ)

金曾 裕一 (かねそく・ゆういち)

佐々木 昭雄 (ささき・あきお)

※任期は2025(令和7)年の第49回総会まで  
★女性(役員女性の比率40%)

「サッポロスマイル」は“笑顔になれる街”札幌の印象的なイメージロゴ魅力あふれる故郷を想い毎日を素敵な笑顔で!



### 広告を掲載しませんか?

次号「東京札幌会だより」(Vol.54/2024年春~夏発行予定)より本誌への広告掲載を再開します。法人会員、関係企業、個人会員の皆様、PRツールの一つとして本誌をご活用ください。掲載サイズ、料金などの詳細は、事務局にお問い合わせ願います。

#### 【東京札幌会事務局】

〒100-0006 千代田区有楽町2-10-1  
東京交通会館3階 札幌市東京事務所内  
TEL.03-3216-5090  
FAX.03-3216-5199  
E-mail: tksapporokai@gmail.com  
(担当: 高橋、吉田)

**【札幌芸術の森野外美術館】**  
イスラエルの彫刻家、ダニ・カラヴァン(1930~2021)が1992年から構想を練り、8回にわたる現地調査やシミュレーションの中から制作、1999年に完成・公開された全長300mの集合作品。当地の緑豊かな環境を生かし、自然との関わりが重要なテーマになっている。同野外美術館の7.5haの敷地には、64作家74点の彫刻・作品が展示されている。

**表紙の写真**  
ダニ・カラヴァン作「隠された庭への道」